



NEWS 2023

フランス最新情報



当情報は2022年12月27日時点のものであり、変更の可能性のあることをご承知ください。

最新情報一覧

2022年

- 2022年5月6日 デイジョン美食・ワイン国際博物館(CIGV)(ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方デイジョン)
- 2022/2023年 ナウシカ国立海洋センターの没入型体験イベント「Grand Large」(オー・ド・フランス地方ブローニュ・シュル・メール)
- 2022年 Netflixシリーズ『黒い蝶』(オー・ド・フランス地方とオクシタニー地方)
- 2022年 新しいエコゲストウス(ブルターニュ地方ブルゲルノ)
- 2022年後半 ホテル「ジョワ・ド・ヴィーヴル」4つ星(ヌーヴェル・アキテーヌ地方ボルドー)
- 2022年9月～2023年4月 デイヴィッド・ホックニー「ノルマンディーの1年」展(ノルマンディー地方バイユー)
- 2022年10月 新しいエコ宿泊予約サイトMooVert(フランス全土)
- 2022年10月 欧州最大のフードコート「フード・ソサエティ」(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2022年秋 GRP entre deux lacs(2つの湖の間)ハイキングトレイル(オクシタニー地方エロー県)
- 2022年11月 バゲットがユネスコ無形文化遺産に登録される(フランス全土)
- 2022年12月 ステンドグラス博物館(グラン・テスト地方トロワ)
- 2022年12月 Netflixシリーズ『Emily in Paris シーズン3』(パリ、プロヴァンス地方ヴォークリューズ県)

2023年

- 2023年1月19日 NBAパリゲーム2023(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年1月、4月、6月「オービュッソン、宮崎駿の空想世界をタピスリーに織る」企画の3作品が完成(ヌーヴェル・アキテーヌ地方オービュッソン)
- 2023年2月6～19日 2023年アルペンスキー世界選手権(クールシヴェル、メリベル)
- 2023年3月 ノルマンディー上陸博物館の新展示スペースと改装オープン(ノルマンディー地方アロマンシュ)
- 2023年3月3日 映画「エッフェル塔～創造者の愛」日本全国公開(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年4月 大規模温泉複合施設「グラン・ナンシー・テルマル」オープン(グラン・テスト地方ナンシー)
- 2023年春 オンフルール海洋遺産博物館改装オープン(ノルマンディー地方オンフルール)
- 2023年春 国際フランス語博物館(オー・ド・フランス地方ヴィレル・コッテレ)
- 2023年春 ホテル・カールトン・カンヌ(5つ星)改装オープン(プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方カンヌ)
- 2023年春 ホテル・デ・カルム(5つ星)(ヌーヴェル・アキテーヌ地方ボルドー)
- 2023年春ブルゴーニュワインとクリマ博物館(ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方シャブリ、ボーヌ、マコン)
- 2023年6月8～18日 ルーアン・アルマダ祭(ノルマンディー地方ルーアン)
- 2023年6月22～25日 ボルドーワインフェスティバルが毎年開催に(ヌーヴェル・アキテーヌ地方ボルドー)
- 2023年6月30日～7月2日 アンジュー・ヴェロ・ヴィンテージ復活(パイ・ド・ラ・ロワール地方ソミュール)



- 2023年夏 ニームのメゾン・カレ、世界遺産登録なるか(オクシタニー地方ニーム)
- 2023年7月17～29日 第50回ロレックス・ファストネット・レース(ノルマンディー地方シェルブール)
- 2023年7月22～23日 城壁祭40周年(ブルターニュ地方ディナン)
- 2023年9月8日～10月28日 ラグビーワールドカップ2023、フランス9都市で開催
- 2023年9月10日～2024年春 レース・アラウンド2023(ヌーヴェル・アキテーヌ地方ラ・ロシエル)
- 2023年10月/11月 トランザット・ジャック・ヴァーブル30周年(ノルマンディー地方ル・アーヴル)
- 2023年ゲンズブール記念館オープン(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年 ガーデンフェスティバル(コート・ダジュール、ロワール河流域)
- 2023年 7年に一度のリムーザン祭り(ヌーヴェル・アキテーヌ地方リムーザン)
- 2023年 アルトゥンゲーベルグマン財団発足(プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方アンティープ)
- 2023年 ル・マン24時間レース100周年(ペイ・ド・ラ・ロワール地方ル・マン)
- 2023年 ピカソ没後50周年(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年 ゴッホ生誕170周年(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年 アルザスワイン街道70周年(グラン・テスト地方)
- 2023年 オー・ド・フランス、欧州美食地域2023となる(オー・ド・フランス地方)
- 2023年 ヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー再開(ブルゴーニュ、ボジョレー、ローヌ河流域、プロヴァンス-カマルグ)
- 2023年 レミー・マルタンによる持続可能なコニャック生産(ヌーヴェル・アキテーヌ地方コニャック)
- 2023年 持続可能なスキー(プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方セール・シュヴァリエ)
- 2023年 ホテル・ル・グラン・マザラン(5つ星)(イル・ド・フランス地方パリ)
- 2023年 エスパス105(4つ星)ホテル&アーバンスペース(ノルマンディー地方ルーアン)
- 2023年 ホテル・シャトー・ルイズ・ド・ラ・ヴァリエール(5つ星)(ロワール河流域)

2024年～2025年

- 2024年4月～9月 ノルマンディー印象派フェスティバル(ノルマンディー地方)
- 2024年 第1回印象派展から150周年
- 2024年6月 ノルマンディー上陸と戦闘80周年(ノルマンディー地方)
- 2024年6月29～7月21日 ツール・ド・フランス、最終日のゴールは例外的にパリでなくニースに(プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方ニース)
- 2024年7月26日～8月11日 オリンピック・パラリンピック競技大会(イル・ド・フランス地方パリとマルセイユ)
- 2024年 夜行寝台列車の路線拡充(イル・ド・フランス地方パリから各地へ)
- 2024年 TGV M運行開始(フランス全土)
- 2025年 アコーによるオリエント・エクスプレスの復活(イル・ド・フランス地方パリ)



文化と遺産

DAVID HOCKNEY'S 'A YEAR IN NORMANDY'

Bayeux, Normandy

デイヴィッド・ホックニー「ノルマンディーの1年」

(ノルマンディー地方バイユー)

2022年9月22日～2023年4月23日

英国の画家デイヴィッド・ホックニーが、バイユー・タペストリー博物館 Bayeux Tapestry Museum で作品シリーズ「ノルマンディー」を展示します。この作品は最近パリのオランジュリー美術館 Musée de l'Orangerie メインギャラリーで展示されたもので、全長90メートルにわたる帯状のオリジナル連作。ノルマンディー地方の春の到来から始まる1年を描いています。iPadで描かれたこの作品は、千年前の刺繍作品に触発されたものです。バイユーでの展示では、ホックニーの連作とその源泉である自然とのまたとないコラボレーションが楽しめます。

NEW EXHIBITION SPACE AND RENOVATION OF D-DAY MUSEUM IN ARROMANCHES

アロマンシュのノルマンディー上陸博物館の新展示スペースと改装オープン

ノルマンディー地方アロマンシュ

2023年3月

1944年6月6日のノルマンディー上陸と戦闘を記念してアロマンシュに建てられたノルマンディー上陸博物館が全面改装され、2023年3月にリニューアルオープンします。新展示スペース1,200㎡は、港を予め組み立てておいて設置するというウインストン・チャーチルの巨大なプロジェクトの驚くべき技術的挑戦がよく理解できるよう構成されています。他にも新たな観点で展示を行うモデルギャラリーや港の機能についての大規模なプロジェクションなどの新企画もあります。しめします。

L'IMAGINAIRE DE HAYAO MIYAZAKI EN TAPISSERIE D'AUBUSSON,

「オービュッソンの、宮崎駿の空想世界をタピスリーに織る」

ヌーヴェル・アキテーヌ地方オービュッソン

2023～2024年

オービュッソンの国際タピスリーセンターでは、宮崎駿監督の映画作品から5場面を選びタピスリーに織り上げるというプロジェクトが2020年より進行中で、既に1作品目（『もののけ姫』より呪いの傷を癒すアシタカ）が2022年3月に完成しています。2023年は3作品が完成予定で、織り上がりのセレモニーが国際タピスリーセンターのYouTubeで配信されます。完成時期は以下のとおり。国際タピスリーセンターでは、当プロジェクトのための特別展示室もあります。日本語プレス資料

- ものけ姫: 2022年3月25日(完成)
- 千と千尋の神隠し: 2023年1月20日
- ハウルの動く城: 2023年4月21日
- ハウルの動く城: 2023年6月16日
- 風の谷のナウシカ: 2024年後半

CITÉ DU VITRAIL OPENING IN TROYES

Troyes, Grand-Est

トロワにステンドグラス美術館がオープン

2022年12月17日グラン・テスト地方トロワ

3,000㎡の広さを持つ、ステンドグラスに特化したすばらしい美術館「シテ・ヴィトラユ(ステンドグラス美術館)」が2022年12月17日にトロワにオープンしました。歴史地区にある壮麗なトロワ伯施療院跡の西翼全体が充てられ、過去から現代にわたるガラス工芸職人らの作品と芸術が展示されています。見学ツアーでは、制作の各段階や制作技術を紹介するとともに、ガラス工房のバックステージも覗けます。

OPENING OF MAISON GAINSBOURG

Paris, Ile de France

ゲンズブール記念館オープン (パリ)

2023

フランスのカリスマ音楽制作者、歌手、俳優のセルジュ・ゲンズブールが1969～1991年まで暮らした家を記念館として一般公開する計画は、公開時期が何度か延期されていますが、とうとう2023年に実現する模様です。ミュージアムスペース、書店とショップに加え、彼のピアノ弾きとしての初期の活動を彷彿とさせるピアノバー「ゲーンズバー」が設けられます。

www.maisongainsbourg.fr

OPENING OF NANCY THERMAL SPA COMPLEX

Nancy, Grand Est

大規模温泉複合施設「ナンシー・テルマル」オープン

グラン・テスト地方ナンシー

2023年4月

来年の春ナンシーに、最新都市型複合温泉施設ナンシー・テルマルがオープンします。緑があふれるサント・マリー公園 Parc Sainte-Marie に隣接し、ナンシー派美術館 École de Nancy Museum やICNビジネススクールのARTEMからも近い立地。天然温泉とその優れた効能を存分に活かした多彩なスパとトリートメントですべての人を癒してくれます。思い切ったプロジェクトですが、もちろん建築家ルイ・ランテルニエによる本来の建造物や歴史的価値は尊重しています。

THE LIMOUSIN SEPTENNIAL OSTENSIONS

Limousin, Nouvelle-Aquitaine 2023

7年に1度のリムーザン祭り

ヌーヴェル・アキテーヌ地方リムーザン

2023年

ユネスコ無形文化遺産登録の7年に一度しか行われぬお祭り。リムーザンの各教会に保管されているカトリック聖人の遺物を展示し礼拝するため、壮大な儀式と行列が行われます。地元の町や村から広範囲な支持を受けている祭で、たくさんの幟や旗、飾り物、中世の衣装を着けた人々を伴って街を練り歩く遺物を見ようと大勢の人が集まります。祭はリムーザン全住民のものであり、キリスト教徒であるなしにかかわらず、自分たちの伝統として守っています。



ステンドグラス博物館となった元施療院のチャペル © Studio OG - Cité du VITRAIL



文化と遺産

OPENING OF CITÉ INTERNATIONALE DE LA LANGUE FRANCAISE

Villers-Cotterêts, Hauts-de-France
国際フランス語博物館オープン
オー・ド・フランス地方ヴィレル・コトレ
2023年春

フランス語が公用語として使われるようになったのは、フランソワ1世が1539年に出したヴィレル・コトレの勅令から。国際フランス語博物館は、フランス語とフランス語圏に特化した文化レジャー施設として、ヴィレル・コトレ城を改装し2023年春にオープンします。すべての人に開かれた学際的研究施設として、ビクターツアー、企画展、特別公演、アーティストのためのレジデンス・ワークショップなどさまざまな補完的なアクティビティを集めます。



フランス語国際博物館となるヴィレル・コトレ城の中庭は天井がガラス張りになる。

GARDEN FESTIVALS IN 2023 2023年ガーデンフェスティバル

THE 4TH COTE D'AZUR GARDEN FESTIVAL
第4回コート・ダジュールガーデンフェスティバル
(3月25日～5月1日)

第4回コート・ダジュールガーデンフェスティバルは、「驚くべき遠近法」をテーマに、フレンチリビエラのアンティープ、カンヌ、グラス、マントン、ニース、モナコの6会場で風景作品17点を展示します。各会場では、2作品または3作品の庭園(各200m²)がコンペティション作品として展示される他、コンペティション外の庭園が10点、講演プログラムなど多くの催しがアルプ・マリタイム県で企画されています。

THE 32ND INTERNATIONAL GARDEN FESTIVAL OF CHAUMONT-SUR-LOIRE
第32回ショーモン・シュル・ロワール国際ガーデンフェスティバル
(4月～11月)

パリから200km弱、トゥールとプロワの間、ロワール川を眼下40mに眺める自然のオアシス、ショーモン・シュル・ロワール城があります。城と公園は一年中オープンしていますが、スターイベントはガーデンフェスティバルで、希少種など珍しい植物や通常は手に入らないようなレアな花が見られます。2023年は20区画で国際コンペが行われます。

INAUGURATION OF THE HARTUNG- BERGMAN FOUNDATION

Antibes, Provence-Alpes-Côte d'Azur
アルトゥング・ベルグマン財団発足
プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方アンティープ
2023年

アンヌ・アルトゥング Hans Hartung (1904～1989)とアンナ=エヴァ・ベルグマン Anna-Eva Bergman (1909-1987)は、モダンアートと抽象表現の重要人物。20世紀の歴史を生き、果敢な生涯を送りました。1960年代、彼らはアンティープの高台に2ヘクタールのオリーブ畑を購入し、自ら設計したヴィラとアトリエを建設しました。彼らが生涯を終えるまで暮らし創作を続けたこの場所は、今、素晴らしい作品とアーカイブを保管する財団となり、建築物全体は注目すべき建築作品として20世紀の遺産に登録されています。詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。

LA MAISON CARREE REOPENS IN NIMES

Nîmes, Occitanie
ニームのメゾン・カレが再オープン、世界遺産登録なるか
オクシタニー地方ニーム
2023年夏

ニームにある古代ローマ時代に造られた神殿メゾン・カレが2022年7月に再オープン。内部空間が修復されました。ニームとその住民はこれを長い間熱狂的に待ち望んでいました。保存状態が優れたこのローマ時代の神殿が、まぼろしではなく普遍的価値の反映として2023年夏にユネスコ世界遺産への登録が成れば、古代建築への畏敬の念がさらに共有されるでしょう。

www.maisoncarree.eu





エンターテインメント

LES PAPILLONS NOIR: NETFLIX SERIES (2022) / Hauts-de-France and Occitanie

『黒い蝶』: Netflixシリーズ(2022年)

オー・ド・フランス地方とオクシタニー地方

原題『Les Papillons Noir』というフランスの犯罪スリラーシリーズ。作家として行き詰まった小説家が回顧録の執筆を依頼され、次第に連続殺人犯の血まみれの過去に巻き込まれていきます。撮影地はオー・ド・フランス地方のモルベック Morbecque、リール Lille、ルーベ Roubaix、トゥールコアン Tourcoing、アラス Arras、オクシタニー地方のコリウール Collioure、バニユルス・シュル・メール Banyuls-sur-Mer、アルジェレス・シュル・メール Argeles-sur-Merなど。

SEASON THREE OF 'EMILY IN PARIS': NETFLIX SERIES (2022) / Vaucluse, Provence-Alpes-Côte d'Azur

『エミリー、パリへ行く』シーズン3: Netflixシリーズ(2022年)

パリ、プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方ヴォークリューズ県

シカゴのマーケティングエグゼクティブ、エミリー・クーパーは、パリで夢のような職を得た後、仕事に恋に友情にスリリングな新生活を果敢に繰り広げます。パリとコート・ダジュールで撮影された前の2シリーズの成功に続くシーズン3は舞台をプロヴァンス、ヴォークリューズ県に移し、特にアパート Apt、ゴルド Gordes、レ・アニエル・ラベンダー蒸留所 Les Agnellsなどで撮影されています。

プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方観光局サイト→<https://provence-alpes-cotedazur.com/decouvrir/emily-in-paris-tournage-serie-netflix-provence/>

EIFFEL (2023)

『エッフェル塔〜創造者の愛』2023年3月3日、日本全国で公開

パリのシンボル、エッフェル塔を設計したギュスターヴ・エッフェルによる完成までのヒューマン・ラブストーリーが、ついに日本上陸。

<https://eiffel-movie.jp/>

プランタンデパート、サマリテーヌ、パリ・ガリエラ美術館など、エッフェルに関連するパリの随所がパリ観光・会議局のサイトで紹介されています。撮影地マップも当ページからダウンロード可能です(仏語・英語のみ)。

<https://en.parisinfo.com/discovering-paris/info/guides/in-the-footstep-of-gustave-eiffel-in-paris>

DROPS OF GOD: HULU (2023)

『神の雫/Drops of God』: Huluで配信(2023年)

ワイン愛好家はもちろん、ワイン生産者などの業界関係者からも高い支持を得る日本の伝説的マンガ『神の雫』が、国際ドラマとして実写化。遠峰一青役を山下智久が演ずることで話題になっています。2021年8月よりフランスで撮影を開始、イタリア、日本で撮影でも撮影が行われ、2023年にHuluで配信予定。

The Last Rifleman(原題)日本未公開/ Normandy

ノルマンディー地方

第二次世界大戦の退役軍人が北アイルランドのケアホームを脱け出して、ノルマンディー上陸の75周年記念に出席しようとフランスに向かいます。困難ではあるが感動的な旅を通して、過去の亡霊に立ち向かう勇気を得ます。この映画は実話に基づくもので、主演はピアース・ブロスナン Pierce Brosnan とジョン・エイモス John Amos です。

THE SERPENT QUEEN(原題)日本未公開 / Chateau de Chambord, Loire Valley

ロワール河流域シャンボール城

「蛇の女王」のヒロインはカトリーヌ・ド・メディシス。あらゆる苦難にもかかわらず、フランス史上最強最長の統治者の1人となった人物です。カトリーヌの物語は、新しい召使いの少女ライマに対し自らの過去の行動を語り聞かせ、学んだ教訓を伝えながら、フラッシュバックとして展開します。撮影地はシャンボール城、シュノンソー城、ヴィランドリー城。ブルージュ大聖堂も際立っています。



周年行事

100TH ANNIVERSARY OF THE 24 HOURS OF LE MANS

Le Mans, Pays de la Loire

ル・マン24時間レース100周年

ペイ・ド・ラ・ロワール地方ル・マン

2023年6月10～11日

この世界的に有名な耐久レースが、1923年5月26日の初の開催から、1世紀を迎えます。2023年、パリでドキュメンタリー映画の皮切り上映の他、さまざまなイベントが企画されています。100周年祭は6月中旬のル・マン24時間レースから始まり、4週間後のル・マン・クラシックでグランドフィナーレを迎える1ヶ月の祝祭です。また、ル・マンで優勝した車をすべて集めた特別展示も行われます。

40TH ANNIVERSARY OF THE FÊTE DES RAMPARTS

Dinan, Brittany

城壁祭40周年

ブルターニュ地方ディナン

2023年7月22～23日

壮大な中世祭が来年40周年を迎えます。この機会に、私たちの祖先の日常生活を再発見し、中世都市ディナンを象徴する城、城壁、時計塔、コルドリエ修道院 Cordeliers convent、サン・ソーヴール大聖堂 Saint-Sauveur basilicaなどを散策してみましょう。週末には騎士たちの騎乗試合、大パレード、大規模な中世マルシェなどが催され、かつてのディナンが出現。時代を遡った壮大な絵巻が色鮮やかに繰り広げられます。

70TH ANNIVERSARY OF 'LA ROUTE DES VINS DE L'ALSACE'

Grand-Est

「アルザスワイン街道」70周年

グラン・テスト地方

2023年

フランス初のワイン街道が70周年を迎えます。1953年に正式に観光ルートとして定められたアルザスワイン街道は、北から南へドウ畑や丘の中腹をたどって曲折しながら170キロ以上続いています。ほぼ70ものワイン造りの村が点在し、1,000人以上の生産者がカーブへのドアを開いてワインへの情熱を共有してくれます。



アルザス地方カイゼルスベルク村 © AAA_Meyer

50TH ANNIVERSARY OF PICASSO'S DEATH

Paris, Île-de-France

ピカソ没後50周年

イル・ド・フランス地方パリ、プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方アンティープ、ヴァロリスなど

2023年

フランスとスペインの両政府が組織する委員会が、「[Picasso Celebration \(ピカソの祭典\) 1973-2023](#)」の名称で、ヨーロッパとアメリカの最高レベルの施設数カ所が42の展示会を準備しています(フランス国内では12の美術館でピカソ関連の特別展あり)。ピカソは成人後生涯の大半をパリの北、モンマルトルで過ごしました。パリのポンピドゥー・センターも、ピカソの生涯と芸術的遺産を称える会場として選ばれています。2023は、パリ国立ピカソ美術館の新ピカソ研究センターの除幕も予定されています。パリ以外ではピカソが滞在したアンティープ、ヴァロリスのピカソ関連美術館で特別展が予定されます。[プロジェクト全容についてはこちら](#)



© D. VANNOOTE

170TH ANNIVERSARY OF VAN GOGH'S BIRTH

Musée d'Orsay, Paris, Île-de-France

ゴッホ生誕170周年

イル・ド・フランス地方パリ

2023年9月26日～2024年1月28日

生誕170周年を記念して、特別展「オーヴェール・シュル・オワーズのゴッホ:最後の数カ月」がまずゴッホ美術館 Van Gogh Museumで開催され、その後オルセー美術館 Musée d'Orsayでも開催されます。ゴッホはプロヴァンスの精神病院からパリのすぐ北にあるこのオーヴェール・シュル・オワーズ村 Auvers-sur-Oiseにきました。そしてここでの70日間の滞在中になんと70点もの絵画を完成させました。特別展はエマニュエル・コクリー Emmanuel Coqueryがキュレーターを務め、約50点の絵画作品が展示されます。



美食とワイン

VALLÉE DE LA GASTRONOMIE

Burgundy, Beaujolais, Rhône Valley and Provence-Camargue

ヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー

ブルゴーニュ、ボジョレー、ローヌ河流域、プロヴァンス・カマルグ

ヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー(美食の渓谷)というコンセプトは最近の提唱ですが、フランスの美食を代表する4地域をつなげ、五感を喜ばせる豊かな旅を提案しています。ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方のディジョン Dijon に始まる620kmの行程は、マルセイユ Marseille までの楽しいグルメの旅で、美食とワインを愛する人たちにぴったり。オーヴェルニュ・ローヌ・アルプやプロヴァンスのローヌ・デルタ地域などのグルメとワインの宝庫を巡り、終着点オクシタニーのガール県まで続きます。詳細については、[ここをクリック](#)してください。



BORDEAUX FÊTE LE VIN BECOMES AN ANNUAL FESTIVAL

Nouvelle-Aquitaine

ボルドーワインフェスティバルが毎年開催に

ヌーヴェル・アキテーヌ地方

2023年6月22～25日

ワインツーリズムを代表するフェスティバルであるボルドーワインフェスティバルは20年以上にわたりフランス国内外から観光客を集めてきました。従来は隔年開催の人気イベントですが、来年から毎年6月開催になり、ボルドーの街を活性化します。このイベントは、ワイン、地産品、工芸品とその伝統を通じて、観光地としてのボルドーをPRすることが目的で、プログラムは分かちあいの精神、ワインの試飲、ワインについての学びを中心に構成されています。これまで、ワインフェスティバルと交互に隔年で6月に開催されていたボルドーリバーフェスティバルは、このワインフェスティバルに生まれ変わるようになります。

HAUTS-DE-FRANCE

THE EUROPEAN REGION OF GASTRONOMY 2023

オー・ド・フランス

欧州美食地域2023に選出される

北フランスは、フランスの地方として初めて、「欧州美食地域」のタイトルを獲得しました。このタイトルは、各大陸から集まる60人以上の専門家集団から成る非営利団体「国際美食・文化・芸術・観光研究所 (IGCAT)」が毎年1つないし2つの欧州の地域へ授与するもので、受賞地域にはグルメツーリズムを振興する機会が与えられます。この受賞により、このオー・ド・フランス地方のシェフや、まだそれほど広く知られていない北フランスの食材を扱う彼らの手腕についての知識を広めるまたとない機会です。ちなみに2022年の受賞地域はスペインのメノルカ島、ノルウェーのトロンハイムでした。

[欧州美食地域2023 \(IGCATサイト\)](#)

[オー・ド・フランス地方の美食について](#)



**BAGUETTE ADDED TO UNESCO LIST OF INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE**

バゲットがユネスコ無形文化遺産に登録される

2022年11月

フランス全土

「フランス人の美食術」が2010年に無形文化遺産登録されたフランスに、2022年11月、あらたに食関連の登録案件がひとつ加わりました。フランスの食卓に欠かせないフランスパン、バゲットです。パリ市では1994年からバゲットコンクールを開催しており、2022年の勝者はDAMIEN DEDUNでした。バゲットとパリのパン屋については[パリ観光会議局のサイト](#)へ。

**FOOD SOCIETY, EUROPE'S LARGEST FOOD HALL
PARIS, ÎLE-DE-FRANCE**

フード・ソサエティ、ヨーロッパ最大のフードコートがオープン

2022年10月

イル・ド・フランス地方、パリ

パリ、モンパルナス地区の再開発でできたショッピングセンター「アトリエ・ゲテ Ateliers Gaité」が2022年10月にオープンしています。特筆すべきは床面積35,000㎡、欧州最大のフードコートです。打ち放しコンクリートの空間に15の店舗やバーが点在する中を、迷宮を彷徨うように好きなフードに出会い、カジュアルな雰囲気です。点在する屋台には、モリ・サッコMory Sackoによるチキン料理のモジョMOJO、アドリアン・カシヨAdrien Cachotによるタバスの店モノバーMonobar、ジョルジュ・バガディGeorges Baghdilによるシリア料理のマイ・タヌールMy Tannourなど、若きトップシェフによる監修の店が目立ちます。また、パリのグルメバーガーを牽引するブレンドBlendでは肉汁に浸して食べる“フレンチディップバーガー”を提供したり、有名パティシエのスイーツをブランドを越えてセレクトし販売するフード・パティスリーFou de Pâtisserieが出店していたり、食のトレンドを見て味わえる場所です。

LA CITÉ INTERNATIONALE DE LA GASTRONOMIE ET DU VIN DE DIJON

ディジョン美食・ワイン国際博物館(CIGV)がオープン

2022年5月6日

ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方 ディジョン

数年にわたる大規模工事の末、ディジョン美食・ワイン国際博物館が2022年春にオープンしています。1750平方メートルの展示スペースには、フランスの食文化、ブルゴーニュの気候とブドウ畑について学べるコーナー、料理や醸造学が学べる教室、ショップ、10のスクリーンを備えた映画館などが入り、多角的な役割を持ちます。

www.citedelagastronomie-dijon.fr

CIGVが入る建物のひとつ、サン・タンヌ施療院跡にはヒルトン系列キュリオ・コレクションの高級ホテル「ル・サン・タンヌ・ディジョン Le Sainte Anne Dijon」が2023年春に開業予定です。

CITE DES CLIMATS ET VINS DE BOURGOGNE

BEAUNE, CHABLIS, MÂCON

ブルゴーニュのクリマとワイン博物館がオープン

ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方シャブリ、ボーヌ、マコン

2023年春

ブルゴーニュ地方は食とワイン目的の観光が、なお一層充実することでしょう。ディジョンに美食とワインの国際博物館ができるばかりか、ブルゴーニュワインの3大生産地であるシャブリ、ボーヌ、マコンそれぞれの町に、ブルゴーニュワインの歴史を紹介するために構想された施設が誕生します。

www.cite-vins-bourgogne.fr

フード・ソサエティ © STUDIO SLURP



ブルゴーニュワインとクリマ博物館（左からシャブリ、ボーヌ、マコン） © CITÉ DES CLIMETS ET VINS DE BOURGOGNE



スポーツイベント

RUGBY WORLD CUP 2023
ラグビーワールドカップ2023
フランス全土9カ所のホストシティ
2023年9月8日～10月28日

2023年ラグビーワールドカップは、ボルドー Bordeaux、リール Lille、リヨン Lyon、マルセイユ Marseille、ナント Nantes、ニース Nice、サンテティエンヌ Saint-Etienne、パリ/サンドニ Paris/Saint-Denis、トゥールーズ Toulouse で開催されます。主催団体である France 2023 は、これまでの入場者数記録を破る見通しを立てており、これまでにないファン体験とインパクトを実現しようとしています。France 2023 とワールドラグビーは互いに、社会的責任、包摂性、持続可能な開発の観点から、既存の国際スポーツイベントの基準を引き上げるといふ野心も確認しました。この大会は国際スポーツイベントとして初めて、すべてのファンが利用できる持続可能な輸送を目指すオンラインプラットフォームを提供します。メダルやベンチにもリサイクル素材を使用します。各開催都市の催しの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

開催地とその周辺での滞在アイデアをまとめたプレス資料は[こちら](#)。

- 日本対チリ(9月10日) 於トゥールーズ
- 日本対イングランド(9月17日) 於ニース
- 日本対サモア(9月28日) 於トゥールーズ
- 日本対アルゼンチン(10月8日) 於ナント

NBA PARIS GAME 2023

Paris, Île-de-France
NBA/パリゲーム2023

イル・ド・フランス地方パリ 2023年1月19日

パリは1月19日にアコアリーナで、NBAの試合会場となります。NBA優勝6回のシカゴ・ブルズ Chicago Bulls と優勝3回のデトロイト・ピストンズ Detroit Pistons が対戦します。NBAの試合が海外で行われるのは2020年以降のことで、フランスでの開催は1991年以来12回目です。

ALPINE SKI WORLD CHAMPIONSHIPS 2023

Courchevel and Méribel

2023年アルペンスキー世界選手権

クールシュヴェルとメリベル 2023年2月6～19日

フランスは名高いリゾート地であるメリベルとクールシュヴェルで、アルペンスキー世界選手権を開催します。フレンチアルプスの3大渓谷スキー場の中心で、世界有数のスキーヤーらがその技能にふさわしい雄大なプレイグラウンドで競います。すばらしい環境で世界大会の興奮を体験する絶好の機会です。



THE RETURN OF ANJOU VELO VINTAGE

Saumur and surroundings, Pays de la Loire

アンジュー・ヴェロ・ヴィンテージが復活

ソーミュールとその周辺

2023年6月30日～7月2日

昔のコスチュームやレトロな自転車を楽しむステキな楽しいお祭りが、3年ぶりにロワール河流域に帰ってきます。美しいアンジュー Anjou地域の風景を通る30～130kmのルートを、当時の気分になりながら自転車で駆け抜けましょう。水玉模様に、ベチコート、口ひげなどで扮装したチャームな人たちがたくさん参加し、ヴィンテージヴィレッジのフェスティバルダンスフロアではスイングやブルースが鳴り響きます。ソーミュールの発砲ワインも存分に楽しめます。詳細については、[ここをクリック](#)してください。

THE IRONMAN WORLD CHAMPIONSHIPS FOR MEN

Nice, Provence Alpes Côte d'Azur

アイアンマン世界選手権大会 2023(男子)

プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方ニース、2023年9月10日

www.ironman.com/im-france

これまでハワイで行われてきたアイアンマン世界選手権が、初めて2023年にニースで開催されます。2023年大会より男子、女子は別の開催地で行われ、女子は10月14日にハワイでの開催となります。

さらに2026年までは男子と女子の開催地をニースとハワイで一年ごとに入れ替えて行うことが決定しています。

ニースはトライアスロンも含め、既に国際的なスポーツイベントの開催地として有名です。さらに、2023年はラグビーワールドカップ開催都市のひとつに選ばれており、日本対イングランド戦がアイアンマンレースの一週間後(9月17日)に行われることから、日本の観客が現地レースを完成する可能性が高いのです。さらに、2024年のツール・ド・フランスの最終ゴール地がニースになったことも2022年末に発表されたばかりで、スポーツリゾートとしての認知度が今以上に上がると予想されます。



セーリングとヨット



© L_ARMADA_ROUEN_2019_- SEVERINE-FRERES

SET SAIL FOR THE ARMADA

Rouen, Normandy

アルマダ祭に向けて出帆

ノルマンディー地方ルーアン

2023年6月8～18日(4年に一度)

ルーアンのセーヌ川岸に世界最高級の背高船が集結します。国際的な船舶の年間イベントの中でも重要なイベントで、フランスや外国の何千人もの船員たちが、50隻の壮大な背高船や世界中の軍用船、潜水艦で参加します。フィナーレのパレードで、船団はオンフルールとル・アーヴルの間の河口に向かって航行します。ルーアンのアルマダ祭はこの種のイベントとしてはフランスで唯一のもです。

A NEW MARITIME HERITAGE SITE REDESIGNED IN HONFLEUR

オンフルール海洋遺産博物館改装オープン

ノルマンディー地方オンフルール

2023年春

オンフルールの中世の要塞が生まれ変わりました。町で最も古い建物で、かつては街の入口であったポルト・ド・カエン *Porte de Caen* が修復され、来年の春からはオンフルールの海洋史に特化した博物館になります。

ARRIVAL OF THE 50TH ROLEX FASTNET RACE

Cherbourg, Normandy

第50回ロレックス・ファストネット・レースのゴール

ノルマンディー地方シェルブール

2023年7月17日～29日

50周年を迎えるロレックス・ファストネット・レース。ゴールはシェルブール・アン・コタンタン *Cherbourg-en-Cotentin*。ゴールの役目を果たすのは2度目です。2021年には、史上最高24カ国から337隻が参加しました。市内中心部でレース村が設置され多くの催しを計画しており、セーリングを愛する多くの人々がこの大規模海洋フェスティバルに参加することを期待しています。

THE RACE AROUND 2023

La Rochelle, Nouvelle-Aquitaine

レース・アラウンド2023

ヌーヴェル・アキテーヌ地方ラ・ロシェル

2023年9月10日～2024年春

Class40のソロとダブルハンドによる世界一周レース。2023年のホストシティはラ・ロシェルです。約30人の競技者が9月10日に出帆し、2024年春に帰還します。アラウンド・アロンやBOCなどの伝説的なレースをベースにしたレース・アラウンド *Race Around* は伝統的なコースが中心で、国際的な海洋レースで最も成績がよく、アクセスしやすいClass40が対象です。南アフリカ、ニュージーランド、南アメリカに寄航します。このレースは、海洋産業にポジティブな変革をもたらし、脱炭素化に寄与することを使命としています。

30TH ANNIVERSARY OF THE TRANSAT JACQUES VABRE

Le Havre, Normandy

トランザット・ジャック・ヴァーブル30周年

ノルマンディー地方ル・アーヴル

2023年10月下旬～11月上旬

2年に一度のトランザット・ジャック・ヴァーブルは、30年の間に最もタフで最も長く続いているダブルハンドトランザットとしての地位を確立しました。この大レースの紀元はコーヒールート。ル・アーヴルとコーヒーが共有する歴史、貴重なコーヒー豆をヨーロッパに持ち帰った大西洋横断ルートです。ポートが保留されているポール・ヴァティーヌドック *Bassin Paul Vatine* に設置されるレース村では、1週間賑わいが続きます。展示会、ポートツアー、スキッパーとの会合、ショーやコンサート、無料のコーヒーテイasting、出帆前夜の港の壮観な花火大会などが計画されています。

REOPENING OF THE MAISON PIERRE LOTI TO MARK HIS 100TH ANNIVERSARY

Rochefort, Nouvelle-Aquitaine

創業100周年を記念してメゾン・ピエール・ロティが再オープン

ヌーヴェル・アキテーヌ地方ロシュフォール

2023年後半/2024年初頭

来年は、短編小説で知られるフランスの海軍士官で小説家のピエール・ロティの没後1世紀にあたります。ロティのエキゾシズムは当時人気を博しましたが、彼が扱ったテーマは2つの世界大戦の狭間のフランス文学の中心的な懸念をいくつかを先取りしていたと言えます。ラ・ロシェル *La Rochelle* 近くのロシュフォール *Rochefort* にある彼の家は、1年をかけて改装されて再オープンする予定です。再オープンまではエブル博物館 *Hèbre Museum* でロティの世界をご覧ください。ロティの家のコレクションの一部を常設展示しており、幼少期の「小さな博物館」から衣装に至るまで、また船員としてのキャリアや社交上の好みを通して、この旅行家-作家の生涯を辿ることができます。



持続可能な観光とその他のイニシアティブ

A NEW ECO-GUESTHOUSE IN PLOUGUERNEAU

Plouguerneau, Brittany

ブルゲルノの新しいエコゲストハウス

ブルターニュ地方ブルゲルノ

2022年

ブルターニュの島々、オイスターバー、灯台からも徒歩5分のアクセスのよいゲストハウス。ローコストなプライベートキャビン6室を備えた海の隠れ家風の設計です。中二階に水上ハンモックを張ったポートハウスを思わせるインテリアで、植物由来の断熱材、太陽熱温水器、コンポストトイレなど、さまざまなエコ設備が整っています。共有スペースは日中、研究会や料理教室、エコロジーや海岸線に関する意識を高める活動に利用されています。施設は自治体の支援を受け、地域のエコロジー移行を加速させることを目的としています。詳細については、[ここをクリック](#)してください。



新しいエコ宿泊施設予約サイトMooVertオープン

2022年10月フランス全土

MooVertは、信頼性、環境への配慮、優れたサービスという共通の価値観を共有する宿泊施設、レストラン、サービス提供者を厳選して集めています。サービス提供者は、消費者がより環境に配慮した宿泊施設、レストラン、活動を選択できるように評価されています。MooVertのアルゴリズムは、環境配慮のある宿泊施設に与えられる様々な認証マーク、例えばTeragir/La Clef Verte (エコ部分)とBienvenue à la Fermeと共同構築されています。

<https://moover.fr/>

NAUSICAA'S 'GRAND LARGE',

A NEW IMMERSIVE EXPERIENCE

Boulogne-sur-Mer, Hauts-de-France

ナウシカ国立海洋センターの「Grand Large」

新しい没入型体験

オー・ド・フランス地方ブローニュ・シュル・メール

2022年/2023年

ヨーロッパ最大の水族館で、海洋保全の重要性についての意識向上を目的とする新しいビジターエクスペリエンスが楽しめます。外洋とはどんなものかを知り、そこに暮らす堂々とした動物たちと出会しましょう。ナウシカで最も魅力的な空間の1つである100m²のガラスウィンドウが広がるグレートベイThe Great Bay空間で、ビジターは拡張現実ヘッドセットMicrosoft HoloLens2を着用し、高精細ホログラムを体験します。

SUSTAINABLE COGNAC PRODUCTION AT RÉMY MARTIN

Cognac, Nouvelle Aquitaine

レミー・マルタンによる持続可能なコニャック生産

ヌーヴェル・アキテーヌ地方コニャック

2023年

まもなく創業300周年を迎えるレミー・マルタン・コニャック・ハウス Rémy Martin Cognac Houseは、より公平で持続可能なコニャック生産のビジョンを実現するために、社会的・環境的責任のあるアプローチへのコミットメントを宣言しました。ビジターは、ブドウ畑の散策、テイスティングワークショップ、ルイ13世コニャックのテイスティングセレモニーなど、10種類のテーマ別プログラムを楽しめます。レミー・マルタンは、ジュラック・ル・コック Juillac-le-Coq の敷地内に、持続可能な輸送方法を専門とするエコサービスステーション「Bulle Verte Slow Exploration」も主催しています。このサービスステーションはグランド・シャンパーニュの電動自転車乗りの出発点でもあります。

SUSTAINABLE SKIING

Serre Chevalier, Provence-Alpes-Côte d'Azur

持続可能なスキー

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方セール・シュヴァリエ

2023年

再生可能エネルギーの分野で先駆的なスキー場であるセール・シュヴァリエに、2022年2つの水力発電タービンが設置されました。2023年の目標は、エネルギー需要の30%を太陽光、風力、水力の再生可能エネルギーでまかなうことです。移動に列車を使うこと、つまり滞在中に車を使用しないことは、フランスのすべての山で可能です。現在、12カ所ものフランスのリゾート地がフロコン・ヴェールの認証を受けています。



その他のリソース

Going green: フランスがヨーロッパ先進の持続可能な観光 destinations になるためのステップ - [詳細はこちら](#)。



持続可能な観光とその他のイニシアティブ

フランスのホテル格付け制度、環境面の取り組みを重視

フランス観光開発機構-フランス全土

2022

フランス観光開発機構の役割のひとつにホテルの格付け作業があり、与えられたランクは5年ごとに見直しが行われます。2022年4月、ホテルなど宿泊施設への格付け手順が更新されました。2022年版には243の基準項目が設けられ、持続可能な開発に関する項目を重視するようになりました。持続可能な開発については27の基準があり(前版では13)、そのうち15が必須基準です。従業員に対するトレーニングとして、省エネ管理、節水、廃棄物管理対策、ゲストへの廃棄物分別の案内、環境に優しい洗浄製品、ゲストへの環境負荷の低い輸送に関する情報、ランドリーの量を減らす手段などが挙げられています。この新たな手順は以前よりずっと厳しいもので、ホテル部門の施設がエコロジーへの移行において重要なアクターになることをさらに奨励するものです。フランスのホテルの87%が対象になります。詳細はこちら。



PARISLOCAL: パリの手工芸職人にスポットライトを当てるイベント「パリロカル」 イル・ド・フランス地方パリ

2023年11月

ParisLocalは広域パリとその職人の技を紹介するイベントです。11月週末祝日連休に、特別ワークショップ、テイasting、デモンストレーション、オープンハウスなどのユニークなアクティビティで、パリのさまざまなクリエイションが発見できます。

THE 'FLOCON VERT' LABEL FOR GREENER MOUNTAINS

The Mountains of France Ongoing

「フロコン・ヴェール」

山をきれいに保つための認証制度

フランスの山々で進行中

フランス国土の25%を占める山地は6つの主要山地から成り、地方議会、村、町が5,600も点在しています。山を保護し、スキーをより持続可能なものにするイニシアティブは多く、山岳観光地の持続可能なコミットメントを表す「フロコン・ヴェール(緑の雪の結晶)」という称号は、厳しい監査を経て候補リゾートに授与されます。シャテル、シャモニー・モンブラン、シャムルースなどがこの称号を受けています。再生可能エネルギー源の使用も監査項目に含まれ、フランスアルプスのスキーリフト会社48社以上が、CO₂排出量削減のための持続可能なアプローチにコミットしています。他にも「Be part of the mountain」のような生物多様性イニシアティブもあり、ヴァノワーズ国立公園や他の地域の公園でワークショップ、自然主義的の観察ポイント、教育的アプローチを提供しています。気候変動対策として、フランス山地は年間を通じてビジターを受け入れ、サマーシーズンとショルダーシーズンのアクティビティを多く開発しています。詳細はこちら(フランス語のみ)。

PAYS ENTRE DEUX LACS: 新しい水辺のハイキングトレイル

オクシタニー地方エロー

2022年秋

エロー県の2大観光地を結ぶ、新しいトレイルがオープンしました。アヴェンヌ湖 Avène とサラグ湖 Salagou です。セエ Ceilhes から出発する「アヴェンヌ湖一周コース Tour du Lac d'Avène」(33km)、クレルモン・レローから出発する「サラグ湖コース Tour du Lac du Salagou」(32km)と、2つのコースを合わせた「2つの湖コース」(65km)があります。2つの湖の美しさを、対照的な風景と色彩でお楽しみください。

GUEDELON, BUILDING A CASTLE FROM SCRATCH

Bourgogne-Franche Comté

ゲドロン、ゼロからの築城

ブルゴーニュ・フランシュ・コンテで継続中

ゲドロンの森の真ん中、放棄された採石場では、13世紀の城をゼロから建設中です。石切り工、石積工、大工、指物師、木こり、鍛冶屋、瓦職人、荷馬車御者、綱職人などが、伝統工芸の技術を復活させ、中世建築の世界に光を当てるために協力して作業しています。詳細はこちら。



ホテルと宿泊施設



Le Grand Mazarin

JOIE DE VIVRE 4*

Bordeaux, Nouvelle Aquitaine

ジョワ・ド・ヴィーヴル(4つ星)

ヌーヴェル・アキテーヌ地方ボルドー2022年後半

フランス初の ジョワ・ド・ヴィーヴルホテルがボルドーのメリアデック Mériadeck地区にオープンします。ハイアットグループ Hyatt Group とアルボランホテルズ&ホスピタリティ Alboran Hotels and Hospitality がサポートする新コンセプトのホテルは、まさにホームと呼べる雰囲気。「Joie de Vivre(生きる喜び)」というホテル名が表すように、お客様に人生の喜びをお楽しみいただき、滞在を満喫していただけます。

HOTEL DES CARMES 5*

Bordeaux, Nouvelle-Aquitaine

ホテル・デ・カルム(5つ星)

ヌーヴェル・アキテーヌ地方ボルドー

2023年第1四半期

シャトー・レ・カルム・オー・ブリオン Château Les Carmes Haut-Brion のオーナーであり不動産デベロッパーであるパトリス・ピシェ Patrice Pichet は、ボルドーのレ・シャルトロン Les Chartrons にあるこのホテルでラグジュアリーホテル事業に参入しました。立地は旧カルヴェットセラー Calvet cellars内です。プロジェクトは、以前ペサック・レオニャン Pessac-Léognan のワインセラーに携わったフィリップ・スタルクが指揮を執っています。ウェブサイトがオープン予定。

HOTEL CARLTON CANNES 5* - RENOVATION

Cannes, Provence-Alpes-Côte d'Azur

ホテル・カールトン・カンヌ(5つ星)改装オープン

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方カンヌ

2023年

カンヌのカールトンが復活します。アンビシャスな改装と拡張プロジェクトは2023年春に完成予定。ホテルはバルエポックのエスプリを保ちながらも現代のデザイン要素を加えます。インテリアデザイナーのトリスタン・アウアーが、ホテルの伝統と自らの創造性を調和させ、まさにカールトン流現代マスターピースを実現します。

HOTEL LE GRAND MAZARIN 5*

Paris, Île-de-France

ホテル・ル・グラン・マザラン(5つ星)

イル・ド・フランス地方パリ

2023年

メゾン・パリアンテ Maisons Pariente のパリ初のホテル、ル・グラン・マザランは、セーヌ川に近いパリ市庁舎(オテルドヴィル)からすぐ、ヴェルリール通り rue de la Verrerie とアルシーヴ通り rue des Archives が交わる角という立地です。世界的に有名なスウェーデンのデザイナー、マーティン・ブルドゥニズキ Martin Brudnizki によるエレガントな内装には、古典的なフランス調の中にも洗練された現代性を感じられます。客室数は61、内11室がスイートです。

ESPACE 105 4* HOTEL AND URBAN SPACE

Rouen, Normandy

エスパス105(4つ星)ホテル&アーバンスペース・

ノルマンディー地方ルーアン

2023年

エスパス105はルーアンのセーヌ川沿いに間もなくオープンする改装設計の新しい都市型文化スペース。4つ星ホテルの他、屋上レストラン、バー、コーヒーショップ、ブックカフェ、コワーキングスペース、800m²のアーティストスタジオが入ります。ウェブサイトがオープン予定。

CHÂTEAU LOUISE DE LA VALLIÈRE 5*

Loire Valley

シャトー・ルイーズ・ド・ラ・ヴァリエール(5つ星)

ロワール河流域

2023年

ルレ・エ・シャトーホテルの新星、シャトー・ルイーズ・ド・ラ・ヴァリエールは、王宮の街アンボワーズ Amboise にほど近いトゥレーヌ Touraine の中心にある森の中のホテル。5つ星のサービスと美食レストランの喜びを叶えます。城は16世紀の建築で、若きルイーズつまり未来のラ・ヴァリエール女公爵Duchess of La Vallière であり、太陽王が熱愛した愛妾が、最初の休日用邸宅として使用したものです。





日本で開催の展覧会

LA BRETAGNE, SOURCE D'INSPIRATION : REGARDS DE PEINTRES FRANÇAIS ET JAPONAIS

『憧憬の地 ブルターニュ —モネ、ゴッコン、黒田清輝らが見た異郷』
国立西洋美術館(東京、上野)
2023年3月18日(土)～6月11日(日)
<https://bretagne2023.jp/>

19世紀後半から20世紀にかけ、各国の画家たちがフランス北西端のブルターニュ地方を訪れ、この地を多くの作品に描きとめました。本展では国立西洋美術館の「松方コレクション」をはじめ、国内美術館や個人コレクションおよそ30か所からブルターニュを表した作品約160点を選び、それぞれの画家たちがこの地に何を求め、見出したのかを探ります。さらに、同じ頃にブルターニュを訪れた日本の画家たちにも注目する初の展覧会となります。 【展覧会公式サイトより】

LA LUMIERE ET LE VENT EN BRETAGNE

『ブルターニュの光と風』
SOMPO美術館
2023年3月25日(土)～6月11日(日)
<https://www.sompo-museum.org/exhibitions/2022/bretagne2023/>

豊かな自然と独自の文化を持つことで知られるフランス北西部の地、ブルターニュ。この地に魅了された画家たちによる作品を通じ、同地の歴史や風景、風俗を幅広く紹介する展覧会。深緑の海や険しい断崖が連なる海岸線、平原と深い森とが織りなす固有の景観、また、そこに暮らす人々の慎ましい生活と敬虔な信仰心は、19世紀初め以来、数多くの画家たちの関心を掻き立ててきました。本展では、ブルターニュに関する作品を多数所蔵するカンパール美術館の作品を中心に、45作家による約70点の油彩・版画・素描を通じて、フランス「辺境の地」ブルターニュの魅力に触れられます。 【展覧会公式サイトより】

- ブルターニュ地方観光局公式サイト(日本語有)
www.bretagne-tabi.jp
- ブルターニュ地方観光局プレス専用フォトライブラリー
<https://www.tourismebretagne-photos.com/>

HENRI MATISSE: THE PATH TO COLOR

『マティス展』
東京都美術館
2023年4月27日(木)～8月20日(日)
<https://matisse2023.exhibit.jp/>

20世紀を代表するフランスの巨匠、アンリ・マティス(1869-1954年)。純粋な色彩による絵画様式であるフォーヴィスム(野獣派)を生みだし、モダン・アートの誕生に決定的な役割を果たした彼は、84歳で亡くなるまでの生涯を、感覚に直接訴えかけるような鮮やかな色彩と光の探求に捧げました。彼が残した仕事は、今なお色あせることなく私たちを魅了し、後世の芸術家たちにも大きな影響を与えています。

世界最大規模のマティス・コレクションを所蔵するポンピドゥー・センターの全面的な協力を得て開催する本展は、日本では約20年ぶりの大規模な回顧展です。絵画に加えて、彫刻、ドローイング、版画、切り紙絵、晩年の最大の傑作であり、マティス自身がその生涯の創作の集大成とみなした南仏ヴァンスのロザリオ礼拝堂に関する資料まで、各時代の代表的な作品によって多角的にその仕事を紹介しながら、豊かな光と色に満ちた巨匠の造形的な冒険を辿ります。

【展覧会公式サイトより】

マティスの足跡をたどる旅

マティスの画風に大きな影響を与えた南仏コート・ダジュールにて、画家の足跡をたどる旅はいかがでしょうか。ニース旧市街でマティスが初めてニースで滞在したホテル、サレヤ広場の喧騒と色とりどりのマルシェ、初めて個展を開いたパレ・ドラ・メディテラネ(現在はハイアット・リージェンシーの5つ星ホテル)、高台シミエ地区のマティス美術館…。

ルノワールと親交を深めたカーニョ・シュル・メールの彼の家(現ルノワール美術館)、そしてヴァンスでマティスが最晩年に装飾を手掛けたロザリオ礼拝堂へ…。

- ニース・メトロポール観光局「マティスの足跡を辿る旅」
- コート・ダジュール・フランス地方観光局フォトライブラリー



(左と中)マティス美術館、(右)ロザリオ礼拝堂 © CRT Côte d'Azur France



2024年以降

OLYMPIC AND PARALYMPIC GAMES 2024

Paris, Île-de-France & Marseille

2024年オリンピック・パラリンピック競技大会

イル・ド・フランス地方パリとマルセイユ

2024年7月26日～8月11日

2024パリ大会は、前回フランス夏の大会からちょうど100年後に開催されることになり、これまでにフランスで開催された最大のイベントになるでしょう。今までの大会よりも環境に配慮したアプローチで、省エネ、革新、創造性を奨励しています。大会では100%再生可能エネルギーを使用し、二酸化炭素排出量を追跡し、乗馬競技にはヴェルサイユ、ビーチバレーにはシャン・ド・マルス(エッフェル塔の下)など、95%の競技に既存の会場を使用します。この大会は、包摂的でインタラクティブで持続可能なスポーツの祭典となることを約束しています。完全にジェンダーバランスの取れた、カーボンニュートラルな初の大会です。



© PARIS-2024-FLORIAN-HULLEU

80TH ANNIVERSARY OF THE D-DAY LANDINGS AND THE BATTLE OF NORMANDY

ノルマンディー上陸と戦闘80周年

ノルマンディー地方

2024年6月

ノルマンディーは、フランスとヨーロッパの解放につながったノルマンディー上陸とノルマンディーの戦闘により永遠に記憶されています。2024年はノルマンディー上陸と戦闘から80周年にあたり、平和、自由、和解を祝う重要な年です。世界史の悲劇的な時代の記憶を蘇らせながらも、希望の精神を強調するような内容の濃い前例のないようなイベントが多く企画されています。

NORMANDY IMPRESSIONIST FESTIVAL

Normandy

ノルマンディー印象派フェスティバル

ノルマンディー地方

2024年4～9月

ノルマンディーは印象派発祥地であり、2024年版ノルマンディー印象派フェスティバルは、この有名な芸術運動の150周年を祝います。大規模なイベントが、ノルマンディー地域全体で6か月にわたり開催され、展示会、パフォーマンス、講演会のほか、モニュメントのライトアップ、花火、セーヌ川クルーズ、印象派ツアーなどの野外イベントも企画されています。

なお、2024年は第一回印象派展(1874)から150年の節目にあたります。

RELAUNCH OF MIDNIGHT TRAINS' SLEEPER TRAINS

Paris, Île-de-France

2021 -2030

夜行列車の再整備が進む パリ

フランスでは環境配慮から夜行列車の再整備を2021年以降進めており、国家予算1億ユーロを投じ、老朽化した寝台車両のリニューアルと共に2021年5月のパリ～ニース路線、同12月にパリ～ルド線¹を復活させました。いずれも寝台なし座席19ユーロから、2等簡易寝台29ユーロから、1等簡易寝台29ユーロからと、リーズナブルな料金と実用面でのメリットから、国内の夜行列車利用者は2019年から2022年までの間に倍増しました。2023年12月にはパリ～オーリヤック線、2024年にはパリ～ポルド²經由³～ポー線が復活する予定です。政府は2030年までに、パリをセントラルハブとした計12路線の整備を目指しています。

LAUNCH OF TGV M

Across France

TGV M運行開始

フランス全土

2024年

2024年にはさらに高速な新型TGVがフランスで運行を開始します。この列車は、最高速度が現在のTGVの約306km/時に比べて約354km/時に達し、フランス国有鉄道によると、現在の列車よりも広いとのこと。また、エネルギー効率がより高く、CO₂排出量を32%削減する見込みです。乗客は目的地により早く到着できるようになり、フランス国内移動に短距離飛行機を使わないという方向性に貢献します。

REOPENING OF ACCOR ORIENT EXPRESS

Paris, Île-de-France

アコーによるオリエント・エクスプレスの復活

イル・ド・フランス地方パリ

2025年

1883年にパリからイスタンブールを初めて結んだ伝説のオリエント・エクスプレスが2025年に復活します。列車の旅の黄金時代の代名詞であるこの列車が、フランスのホテルチェーン、アコーの運営で2025年に運行を開始する予定です。

